

『もっと！！本野通信』 No.130

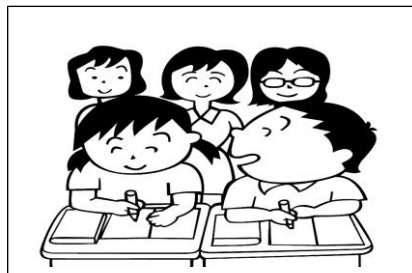
諫早市立本野小学校長 永 井 洋



教育週間中の来校ありがとうございました

先週は、「本野っ子の心を見つめる教育週間」でした。多数の保護者、地域の皆さん、ゲストティーチャーに来校いただきました。子どもたちは、授業、教師からの話や読み聞かせ、地域の方やゲストティーチャーとの関わりなどを通して、「命や豊かな心」について考えました。

平和教育や人権教育、生命の尊重などは、その時だけでは、あまり教育効果はあがりません。年間を通して、さまざまな場面で行っていくことが重要です。また、学校と家庭、地域が同歩調で続けることも大切です。



菊の鉢植え

先週、5・6年生が、三ヶ島先生のご指導のもと、さし芽していた菊を鉢に植え替えました。一人一人が、丁寧に鉢へ植え替えていました。今年の11月には、どのような菊が育つのか楽しみです。

今後、菊の成長に合わせて、婦人会の皆様の協力もいただきながら、大きな鉢へ数回植え替えていきます。猛暑や台風など、心配な点もありますが、みんなで菊を見守り、大切に育てていきます。

7月行事予定

2・9・16（木）…フッ化物洗口 6日（月）…クラブ活動
13日（月）…委員会活動 17日（金）…1学期終業式
22～24日…保護者面談 25日（土）…源流祭（6年希望者のみ）

臨時一斉点検

19日、東京の小学校で火災が発生し、職員と子どもたちが重軽傷を負ったニュースが報道されました。原因については、調査中のようですが、映し出された映像を見て、いろいろ考えることができました。

交通事故や火災などは、どんなに注意していても起こることがあります。ですから、事前の訓練や日常の点検が重要になってきます。報道によると、火災があった学校の教職員は、それぞれがその時に一番しなければいけない行動をとり、子どもたちの命を守ったそうです。本校でも今一度、複数で各教室や倉庫を目視で見て回り危険箇所がないかの点検を行いました。また、今後はいろいろなパターンの避難訓練や方法を全員で再確認していきます。

あってはならないことですが、実際に起きた場合に、どのような行動をとるのかを大人も子どももしっかり確認しておくことと、可能性があることを事前につぶしておくことで、安全と安心を担保したいと考えています。

～校長室の窓から～

あるスーパーでの出来事。豆腐を買おうと陳列棚を見ていました。豆腐の横にはいろいろな種類の納豆が、きれいに並んでいました。以下親子の会話と行動…。

女の子：お母さん、納豆はこれ？

母親：手元の納豆と棚を見比べながら、いや違うよ。

と言うと、積んである納豆をかき分け底の方から1つ取り出しました。おそらく賞味期限を見ていたのだと思います。お母さんは、かごに納豆を入れ、その場を離れました。すると、女の子がばらけた納豆を並べ始めました。（おそらく2、3年生くらい）次に買う人を考えた行動だと感心しました。そこへお母さんが、「早く来なさい」…。人に迷惑をかけない行動とは、日常の些細なところにあり、子どもたちはそれを見ているのです。